

ごあいさつ



富士山を中心とした豊かな自然環境に恵まれた富士吉田市は、古くから富士山信仰のまちとして栄え、御師文化の面影を残す中、地場産業である繊維産業の発展とともに、政治・経済・文化の面で富士北麓地域の中心都市としてその役割を果たしてきました。

この間、数次に渡る総合計画の策定とそれに基づく市政運営が図られる中、一方では超高齢社会の到来と、若者の県外・市外への流出や出生率の低下による人口減少の進行は、地域の活力に大きな影響を及ぼすことが懸念されています。

このため、これら社会経済環境の変化に対応するとともに、本市の直面する課題を克服し、活力に溢れるまちづくりを進めるための羅針盤として、第6次富士吉田市総合計画を策定し、総合的かつ計画的にまちづくりを推進してまいりました。

2018年度（平成30年度）からの10年間におけるこの計画では、市政運営の基本理念を「富嶽共創」と表現しています。これは、富士と共に刻んできた私たちの固有の歴史や文化を礎に、市民の皆様をはじめ、本市に関わる方々が共に力を合わせ、様々な課題を克服し、豊かさと幸せを実感できる活力あるまちの創造に取り組む姿勢を表現したものです。

そして今般、本総合計画の前期5年間が終了することから中間見直しを行い、これまでに取り組んできた施策の成果を検証するとともに、新たな課題である脱炭素社会の実現に向けた対応や、地域社会におけるデジタル化の急速な進展への取組、また国内外の動向や経済情勢、新型コロナウイルス感染症の拡大とその後の生活様式の変化などに対して持続可能な開発目標（SDGs）といった新たな視点も踏まえ、市政運営を総合的に進めていくための分野別施策を深化させております。

今後も、この「富嶽共創」の理念のもと、市民の皆様をはじめ本市に関わる皆様方と共に、将来都市像である「富士の恵みと幸せを紡いでまちを織る 活力創造都市 富士吉田」を創りあげることができるよう邁進していく所存です。

おわりに、慎重なるご審議をいただきました総合計画審議会の委員の皆様、アンケート調査へのご協力や貴重なご意見をいただきました市民の皆様、このほか計画策定に関わっていただきました全ての皆様に心から感謝を申し上げます。

2023（令和5）年3月

富士吉田市長 堀内 茂